

平成 21 年度「新しい利用の在り方推進」実施計画（案）

1. 利用動向の把握に関する取組及び調査

(1) 入下山者カウンターの保守・管理 **新**

毎月データを取得するとともに、得られた値が正確なものか確認を行ない、確実に正確なデータを取得できる機器の管理を行なう。

(2) 大台ヶ原の利用者数の把握に係る調査

① 入下山者カウンター調査

前述の保守・管理より得られたデータを用いて入山者数の動向を把握する。

② 山上駐車場入込み車両数調査（大台ヶ原ビジターセンター調）

ビジターセンターが継続的に取得しているデータを用いて経年的な利用動向を把握する。

③ 山上駐車場来訪者数実数カウント調査

上記2つの調査は、「大台ヶ原へのすべての来訪者数」を表しているものではないため、より正確な利用者数の推計値を算出するため、季節ごとに実数カウント調査を実施し、上記2つの調査の補正を行なう。

(3) 大台ヶ原の利用に係る問題整理地図調査

大台ヶ原の公園利用に係る問題点及びその位置情報について、既存の資料の整理及び現地調査を行ない、問題を整理した基礎資料を作成する。

2. 「適正利用に係る交通量の調整」に係る取組及び調査

(1) 大台ヶ原周辺の車道等調査 **新**

大台ヶ原ドライブウェイ及び林道辻堂山線の形状等を把握し、マイカー規制を実施した場合の交通路としての利用可能性を検討する。

(2) 自動車交通量コントロール事例調査 **新**

マイカー規制等の実施に向けて、自動車交通量のコントロール手法の事例を収集し、大台ヶ原における適用性を検討する。

(3) 大台ヶ原山上駐車場の混雑情報発信

秋季の繁忙期における交通混雑を緩和するため、インターネットを活用して、山上駐車場の混雑状況をリアルタイムで情報発信する。

(4) 公共交通利用促進普及啓発キャンペーンの実施

① ポスター及びリーフレットの作成及び配置

マイカー中心の利用形態から公共交通利用への転換・促進を目的としたポスター及びリーフレットを作成し配置する。

② 公共交通利用促進普及啓発キャンペーンの効果検証のためのアンケート調査

上記キャンペーンの効果を検証するためのアンケート調査を行なう。

3. 「より良好な森林地域の保全と質の高い利用の提供」に係る取組及び調査

(1) 西大台利用調整地区の普及啓発ポスター及びリーフレットの作成及び配置

広く一般国民を対象に、西大台利用調整地区の魅力と、制度のより正確な理解を普及啓発するためのポスター及びリーフレットを作成し配置する。

(2) 利用者による影響調査

① 利用者数調査

立入り認定者数、入下山者カウンター、ビジターセンター調等から西大台利用調整地区における利用者数に係る調査結果を整理し、利用の傾向を分析する。

② 歩道状況調査

歩道及び過去に立入りが見られた箇所の洗掘、複線化、裸地化等の状況を記録する。

(3) 利用の質に関するアンケート調査

① 事前レクチャーに関するアンケート調査

事前レクチャーの質を高めるために受講者に対してアンケート調査を行なう。

② 西大台利用調整地区利用後のアンケート調査

利用適正化計画の効果を検証するために、西大台利用調整地区の利用者の自然に対する意識や利用マナー、行動内容、満足度等を把握する。

(4) 西大台利用調整地区におけるガイド制度確立のための調査

① 大台ヶ原ガイド実態調査

ガイド制度の検討成果を踏まえて、大台ヶ原で活動するガイド団体の意向を把握する。

② 西大台ガイド要件調査 新

西大台で推奨されるガイドに必要とされる資質や、それを担保する資格、講習会受講歴等について、既存の資料を整理し、自然地域で活動する全国各地の主要なガイド団体へのアンケート調査を実施する。

4. 「総合的な利用メニューの充実」に係る取組及び調査

(1) 自然体験プログラムの実施

夏季及び秋季に季節に応じた大台ヶ原の魅力をも普及啓発するため、周辺地域住民等との連携を図りながら自然体験プログラムを実施する。

(2) 大台ヶ原展示イベント開催 新

大台ヶ原の普及啓発の一環として、市中における大台ヶ原に係る展示イベントを開催する。

5. 「横断的取組」に係る取組及び調査

(1) 大台ヶ原自然資源調査 新

大台ヶ原における自然資源（動物、植物、風景等）について、文献の収集・整理及び現地調査により明らかにする。

(2) 自然体験プログラムの実施（再掲）

(3) 大台ヶ原展示イベント開催（再掲）

